

各地の話題 多賀城市

創建1300年の史跡に広がる花々

2024年5月24日号掲載



多賀城市では、令和6年に特別史跡「多賀城跡」創建1300年を迎える。記念事業の一つとして、6月15日（木）から6月21日（金）まで「あやめまつり」が開催される。史跡一角の約2.1畝に800種、300万本のアヤメやカキツバタ、花菖蒲が咲き乱れ、その品種数は東北随一だ。まつり期間中は、出店や野点など各種イベントが行われるほか、夜間に園地のライトアップが行われ、幻想的な空間が広がる。

多賀城跡は、神亀元年（724年）に陸奥国府が置かれ、古代東北の政治や文化の中心として栄えたとされる。史跡から出土した木簡により、古くからコメを栽培していた歴史が判明したことから、市では原種に近い「古代米」を特産品として栽培している。

記念事業として古代米を加工した様々な商品が出品されるほか、11月に記念式典を始めとして、様々な文化イベントが年間を通して開催予定だ。

【記事提供】多賀城市農業委員会

令和5年のあやめまつり



令和5年のライトアップ

